

雨上がりの虹

雨上がりに、ふと空を見上げると、きれいな虹がかかっていた、そんな経験をされたことが誰しも一度はあると思います。聖書にも虹に関する話が出てきます。有名な「ノアの箱舟」の記事です。人々が悪に染まっていることを嘆かれた神が、人類を滅ぼすために大洪水を起こされますが、神は、正しい人であったノアとその家族、そして動物たちを箱舟に乗せて大洪水から救われます。その大洪水の後、神は、二度と大洪水によって人類を滅ぼすことはしないという契約のしるしとして虹をかけられた、というものです。神が私たちに与えてくださったしるしの中で最も明確なものは、私たちの救い主として与えられたイエス・キリストです。虹を見られたら、そのことも思い出してみてください。

Oh! Happy Day

心に泉を



くら 谷 由 美
くら たに ゆ み

教会へは幼少の頃から母に連れられて何度か行ったことがありました。今思えば、その頃の私にとって教会は、お行儀良くしなければいけない場所というイメージがあり、幼かった私は少し窮屈な思いを持っていた気がします。そのせいか、思春期になった私は、とうとうパタッと教会へは行かなくなっていました。

その後、結婚して子育てに忙しい日々を過ごしました。そして時折、周りの人にきつく当たってしまったりすることもあり、そんな自分が嫌でした。心の中ではずっと「こんなにも神様から離れた生活をいつまでも続けていていいのか。こんな私を神様はどう思われているだろうか。このままではダメだ。」という気持ちになり、意を決心して再び教会へ行くようになりました。それは自然と

湧いてきた思いでした。そして、そのこと自体が神様からの恵みだと感じられました。

ある時、家族の中で大きな出来事が起り、それはとても耐え難く“身も心も張り裂ける思い”とはこのことだと思いました。毎日が辛く心が壊れそうでした。しかし日が経つにつれ、その張り詰めた気持ちが緩んでいきました。聖書に『あなたの重荷を主にゆだねよ。主があなたを支えてくださる。』とあります。私は「この事態を受け入れよう。きっとこれが私に与えられた道。神様が支えてくださっている。大丈夫…。」という思いになりました。からからな心に水が注がれ潤いのある心になった瞬間でした。神様に感謝しています。今では私にとって教会は潤いを頂ける泉、オアシスとなっています。